

急速に減少を続ける奥出雲町の人口。人口ビジョンから見える「男性の晩婚化と高い未婚率」は本町の大きな課題の一つです。その解決策を探すべく先進地を視察し、これまでの経緯と成果について学びました。

広島県安芸高田市の「結婚サポート事業」

安芸高田市は、少子化対策の要因とされる未婚の男女の増加に歯止めをかけるため、市民環境生活課内に職員1名を配置し、1名の結婚相談員と17人の結婚コーディネーターで結婚を希望される方の支援を行い、結婚による定住人口の増加



につなげていくことを目的にされています。

事業内容は、結婚希望者の紹介、結婚縁結び事業や出会いの提供、カップリングイベント交流事業、結婚希望者への相談活動など、きめ細かな対応がなされ、結婚相談員と結婚コーディネーターは出会いから結婚まで支援をされています。

結婚希望者の登録者数は昨年10月末現在、男性172人、女性116人の計288人。カップリングイベントは、平成21年度スタート以来開催件数33回、参加人数は男性628人、女性529人、計1,157人で、これまで109組のカップルが誕生し、昨年11月までに40組の成婚が実現しているそうです。

えひめ結婚支援センターの「de愛イベント」と「愛結びシステム」

愛媛県が委託した「えひめ結婚支援センター」は、少子化の主たる原因である未婚化、晩婚化に対応するため、独身男女の出会い機会を提供する「de愛イベント」や「愛結びシステム」の1対1で見合いする愛結びコーナーの設置など、一体的なお見合い事業が運営されています。

「de愛イベント」は、平成20年度スタート以来カップル成立数8,650組となっており、また、「愛結びシステム」は、平成23年度スタート以来カップル数11,926組、結婚報告数850組、出会いとその後のフォローを行う愛結びサポート数99人と大きな成果を上げておられます。



委員会の意見

2か所の結婚支援の取り組みには違いはあるものの、目的は同じで1組でも多くのカップル誕生のために、双方とも真剣で熱心な取り組みと活動は大いに参考となり、学ぶことが多々ありました。これに比べ、本町の婚活の取り組みは、すべて委託先にお任せ。これでは婚活、人口減少対策には程遠い。婚活の推進で少子化と人口減少に歯止めをかけるためには、行政が先頭に立ち、まず職員を先進地に派遣し、学ばせ、危機感をもって早急に対応して行くことが必要であると強く感じました。